

交流会 記念講演会

名城大学機械会・交通機械会 共催講演

機械会、
交通機械
会会員、
理工学部
関係者へ

日時： 2026年11月7日（土）
10:00～

会場： 名城大学 天白キャンパス
タワー75
15Fレセプションホール
(講演後、懇親会がございます)

参加対象： 機械会、交通機械会会員、特別
会員、準会員

参加費
無料

演目：「設計者と使用者の製品 への考え方のギャップについて」

平素は特別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび名城大学機械会・交通機械会では、記念講演会を開催いたします。
講師には、パイロットとして飛行試験に従事された方をお招きし、実体験に基づき設計思想の紹介と、その実現評価および実務評価者との考え方の違いについてご講演いただきます。これからエンジニアも目指す方々含め有益な内容です。ご多忙の折かとは存じますが、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

参加ご希望の方は、機械会
HPの
“お問い合わせ”
よりお申し込み
ください。
(期日；10月20日)

講師プロフィール



航空機製造会社 顧問
航空機設計会社 相談役
安全・品質アドバイザー

渡邊 吉之氏

防衛大学校を経て航空自衛隊へ入隊。操縦経験機種は各種戦闘機のほか30機種以上に及び、三菱重工業勤務時には戦闘機の開発に携わる。約35年間で培った飛行機運航や設計、また試験飛行にて発生した数々のトラブル対応などの経験・知識を基に、安全・品質管理・危機管理に関する提案を行う。

防衛大学校 航空工学科を卒業後、航空自衛隊に入隊しパイロット訓練を3年間受、戦闘機パイロットとして8年間にわたり対領空侵犯措置任務につきました。その後、アメリカ空軍戦闘機戦術課程（Top-Gun課程）を卒業し、各種飛行試験対応のテストパイロットを経験されました。三菱重工業入社後は、22年間テストパイロットを務め、純国産F-2戦闘機の開発を担当しました。

